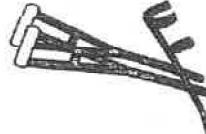
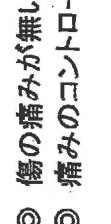


大脛骨骨折の治療

「急性期」 1~2週間 日光医療センター	《回復期》 約2か月 リハビリテーション病院	《維持期》 約6か月 在宅・施設
	<ul style="list-style-type: none"> 当院は、急性期病院のため、入院期間は、手術後約7~14日間です。 転院先などの調整のため当院のケースワーカーと面談をしていただきます。 患者様やご家族がご希望される転院先をご記入ください。 <p>連携病院一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> () 塩原温泉病院 () 日光野口病院 () 足尾双愛病院 () 宇都宮リハビリテーション病院 <p>* リハビリ病院の都合でご希望通りの病院に転院できない場合もありますので、ご了承ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入院時に選択されリハビリ病院にベッドが準備されています。 リハビリの評価を行い、患者様に合わせたプログラムでリハビリを進めていきます。 この期間に在宅に向けての準備を進めています。 介護保険の申請をします。 必要に応じ住宅の改修をします。 デイサービスやデイケアを利用します。  
		<p>転院先の病院と当院は常に連携していますので転院先で状態が変化した場合は当院に受診していただくことができます</p> <p>退院の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> リハビリの途中段階で他の施設へ転院される患者様も転院先で同じようにリハビリが進められます   

脳卒中の地域連携診療計画に関する説明

獨協医科大学日光医療センター

患者 様

カルテNo.

令和02年10月13日

脳神経内科

医師名

1. 脳卒中（脳梗塞・脳出血）は、急性期に再発や進行を防ぐ点滴、内服治療を行います。軽症の場合は急性期加療後速やかに自宅退院することも可能ですが、症状が残存している場合には、リハビリテーションが非常に重要な治療手段となります。そのため、当院での急性期のリハビリテーションが終了した後も継続的なリハビリテーションが必要となります。
2. 獨協医科大学日光医療センターでは、脳卒中の治療を円滑に進めていくために、地域の病院と役割分担して治療を進めております。急性期のリハビリテーションは当センターで行い、その後（2週間後）は、リハビリテーションを専門的に行っている病院に転院していただき、退院に向けたリハビリテーションを進めています。転院先は、患者様やご家族様とご相談させていただき決定いたします。
3. その他、お分かりにくい点やご質問などございましたら、主治医・病棟看護師・地域連携医療部担当者に遠慮なくご質問ください。
4. 獨協医科大学日光医療センターと地域連携パスとの協力病院

塩原温泉病院 日光野口病院 足尾双愛病院
 宇都宮リハビリテーション病院 尾形クリニック

栃木県脳卒中医療連携クリティカルパス Ver. 1